

令和 7 年 11 月 11 日

焼津市指定管理者選定委員長 様

焼津市経済部指定管理者運営評価委員長
山下 敦史

焼津市経済部指定管理者運営評価委員会報告書

施 設 名	焼津市駿河湾深層水体験施設（アクアスやいづ）
事 業 年 度	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで
指定管理者	株式会社ブルーアースジャパン
担 当 者	漁港振興課（深層水担当）

委員会報告事項	評価
令和 7 年 10 月 30 日に本委員会を開催し、令和 6 年度の焼津市駿河湾深層水体験施設（アクアスやいづ）の運営について、指定管理者の事業報告及びヒアリングを経て、審議を行った。 令和 6 年度のアクアスやいづの年間延べ利用者数は、前年度より 2,998 人増加し 72,525 人の利用者数であった。台風の影響により計画値より営業日が減少したが、コロナ禍以後、利用者の運動不足解消への意欲が向上したこともあり、昨年度に続き、利用者の増加が顕著に表れてきたことが窺える。 事業収支の内、収入においては、会員の増加などにより利用料金収入は増収となり、収入全体でも増収となった。支出は、人件費や電気使用量や各種費用を抑えるなどの経営努力を行った結果、計画値よりも経費が減少した。収支ともに事業計画書の予算目標には及ばなかったものの最終的な事業収支については黒字となった。 運営全般としては、経費削減による経営努力や自主事業の拡充を積極的に行っており、コロナ禍以後の市民の運動意識の向上をうまく捉えながら、運営の改善へ向けた努力を継続していることは評価できる。また、利用者アンケートを通じて利用者からの要望、苦情、相談を迅速・丁寧に対応しており、昨年度に引き続き良好な評価を獲得し、利用者満足度が高い適正な運営を継続している。 今後も、アクアスやいづの深層水体験施設としての特徴を活かしつつも、若年層の取り込みや市外での施設認知度の向上などに積極的に取り組み、会員制度や利用者の不満解消への対応などの見直しを継続しながら、近隣クラブとの差別化を図り、会員の増加やビジター利用者の更なる利用促進に努められたい。 以上、深層水体験施設の運営については、本委員会として委員全員「適正」であるとの結論に達した。今後も健全経営に向けた運営と、幅広い年齢層の会員獲得に向け様々な取り組みが積極的に展開されることを期待する。	適正